

「2020 Tokyo Thanks Match」〔弓道競技〕大会実施要項
(東京都高等学校総合体育大会中止に伴う代替大会)

- 1 主催 東京都高等学校体育連盟, 東京都教育委員会
- 2 主管 東京都高等学校体育連盟弓道専門部
- 3 主旨 本大会は、広く東京都における高等学校生徒の体育的な部活動の健全な発展を促進するとともに、特に最終学年の生徒が入試等で活用できる競技成績を残す機会となる運動部活動の成果発表の場として、中止となった全国大会の予選となる東京都総合体育大会の代替大会として開催する。
- 4 期日 令和2年9月12日(土)、9月13日(日)
- 5 会場 明治神宮 至誠館第二弓道場
6. 競技種目 近的競技
7. 競技種類 団体競技
8. 競技規則 全国高等学校体育連盟弓道競技規則
9. 進行 9月12日(土) 男女予選
9月13日(日) 女子団体準決勝・男子団体準決勝、女子団体決勝・男子団体決勝
※開会式は実施しない。
※予選では同一校が同じ射場に続けて入場するようプログラムを作成(男女の別なし)
10. 競技方法 3人立 4射場 立射(計時は行わないが、弦音打起しに努める)
 - (1) 予選 各自4射 計12射を引き、6中以上の的中を通過とする。
 - (2) 準決勝 各自4射 計12射を引き、予選・準決勝の通算的中数の上位から順次8チームを決勝戦進出チームとする。但し、同中チームがある場合は8チームを超えることもある。
 - (3) 決勝 各自4射 計12射を引き、予選から決勝までの通算的中数で3位までの順位を決定する。同中チームがある場合は一本競技を行う。
11. 表彰 男女各上位3チームを表彰する
12. 参加制限
 - (1) 参加チーム数は各校、男女各2チーム以内〔参加生徒は1・2・3年生を対象とする〕。
 - (2) 館内に入れる者は引率1名、選手3名、補欠1名のみとする。

13. 参加料 無料

14. 応援 無観客試合とする

15. 競技順序

- (1) 予選には各チーム、弓道着で指定された招集時間に来館し、受付を行い「健康状態申告書」を提出する。 ※ 招集時間・健康状態申告書は後日、専門部HPに掲載
- (2) 予選では自分の立が終了した後、速やかに片付けを行い退館する〔応援は禁止する〕。準決勝進出チーム及び集合時間は専門部HPに掲載する。
- (3) 準決勝で決勝に進めなかった場合や決勝で優勝・入賞出来なかった場合、速やかに片付けを行い退館する〔応援は禁止する〕。表彰・閉会式は当該チームの引率・選手のみ参加する。
- (4) 替矢・替弦は選手が持って入場し、介添は付けない。
- (5) 引率責任者は、自校行射中は看的小屋に待機し、看的表示板を操作するとともに、行射終了後は自校の矢取を行う。 ※大会役員を務める常任委員については補助係生徒が行う。

16. 大会参加申込

- (1) 東京都高体連弓道専門部から加盟校顧問宛でのメール、もしくは東京都高体連弓道専門部のHPに掲載する大会申込用紙に必要事項を記入、公印を押し、下記に郵送する。
- (2) 大会申込締切は8月14日（金）必着とする。

【大会申込書送付先】 〒108-0073
東京都港区三田1-4-46
都立三田高等学校 内 野付 将貴 宛

17. 引率責任者

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。

18. 参加資格

- (1) 東京都高等学校体育連盟に加盟している高等学校の全日制課程、定時制・通信制課程及び、中等教育学校後期課程に在籍している生徒で、あらかじめ健康診断を受け、当該学校長が競技出場に支障の無いことを確認し、出場を認めた者とする。
- (2) 年齢は平成13年4月2日以降に生まれた者とする。
- (3) 部員不足等に伴う複数校による合同チームの大会参加は可能とする。

19. 「2020 Tokyo Thanks Match」〔弓道競技〕大会感染防止ガイドライン

〈参加選手ガイドライン〉

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に大会参加を見合わせる。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参し着用を原則とする。ただし、的前・巻藁での行射はこの限りではない。
- ③ アルコール等による手指消毒、またはこまめな手洗いを実施する。
- ④ 大会会場内での可能な範囲で、相手との距離を確保する。（できるだけ2mを目安に、最低1m）
- ⑤ 参加者は、大会会場の利用者名簿を事前に提出し、当日受付で健康チェックシートを提出する。
- ⑥ 会話をする際はマスクを着用し、大きな声での会話、応援（矢声）等をしない。
- ⑦ 試合の直前に大会会場に入場し、試合後は速やかに帰宅する。
- ⑧ 試合会場入場時は下駄箱を使用しない。各自下足袋を持参する。
- ⑨ 試合会場での更衣はできない。自宅から道着を着用し大会に参加する。
- ⑩ 弓具などの共用はしない。共用する場合は、手洗い・消毒を励行する。
- ⑪ 使用した弓具は常に清潔に保つことを心がける。
- ⑫ 熱中症防止のために飲料摂取を推奨するが、飲食物を手にする前に手洗い、手指消毒を行い、飲食は指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控える。
- ⑬ 感染防止のために県・学校が定めた措置を遵守し、指導者の指示に必ず従う。

〈大会役員ガイドライン〉

- ① 参加者が遵守すべき事項を明確にして協力を求める。また遵守できない参加者には、大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを事前に周知する。
- ② 会場入り口にアルコール等による消毒液を設置する。
- ③ 役員は、必ずマスクを着用する。
- ④ 手洗所・洗面所にはハンドソープ(ポンプ型)を設置する。
- ⑤ 「手洗いは30秒以上」「マイタオルを使用すること」と掲示する。
- ⑥ 複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブなど)は、こまめに消毒する。
- ⑦ 道場内は常時換気を徹底させる。
- ⑧ 役員同士は可能な限り距離を確保し、接触しないことを心掛ける。
- ⑨ 道場内が「三密」にならないよう、人数制限を設定する。試合直前の入場、試合終了後の速やかな帰宅を呼びかける。
- ⑩ 参加者に飲食物の提供は行わない。
- ⑪ 参加者のゴミの持ち帰りを掲示し徹底する。